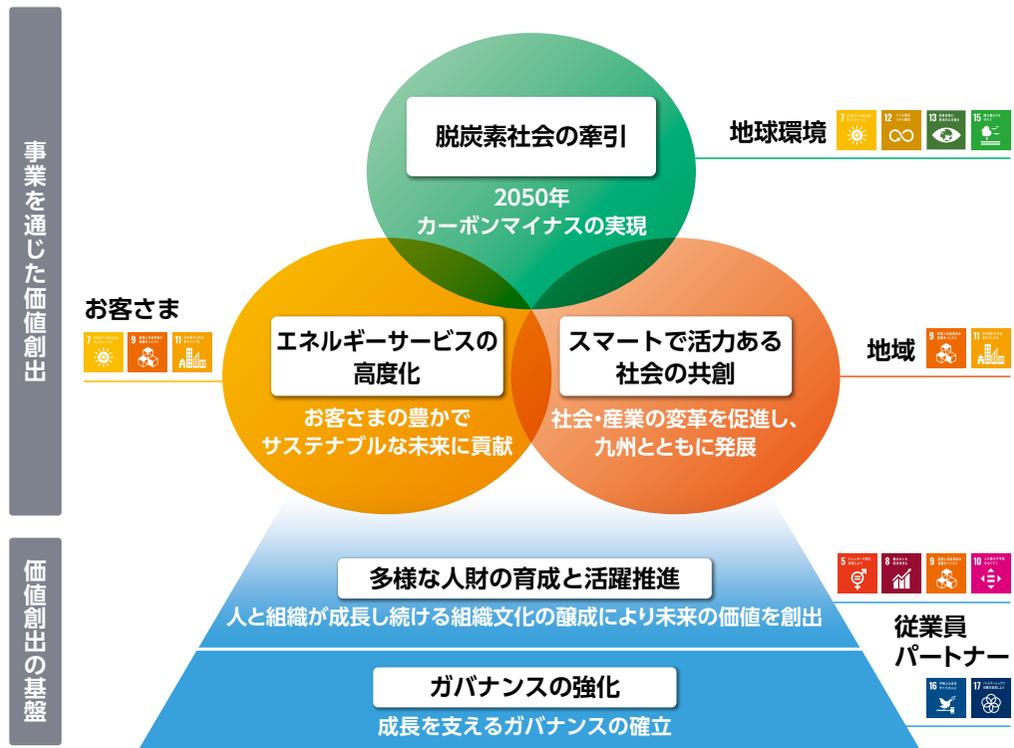


マテリアリティ

九電グループは、2022年4月、事業を通じて「社会価値」と「経済価値」を同時に創出するサステナビリティ経営の実現に向けた経営上の重要課題をマテリアリティとして特定しました。マテリアリティについては、社会情勢や経営環境の変化を踏まえ、継続的に見直しを図っており、2023年4月には、マテリアリティに係る「目指す姿」「主要課題」の一部を見直しました。

「マテリアリティの特定プロセス」の詳細は九州電力ホームページ（以下）をご覧ください。
<https://www.kyuden.co.jp/> ホーム > サステナビリティ > サステナビリティの取り組み > **マテリアリティ**

九電グループのマテリアリティ



目指す姿、主要課題見直し(2023年4月)のポイント

- ・九電グループの人財戦略について経営層で議論を重ね、目指す姿及び関連する主要課題を再整理しました。
- ・「社会・産業変革」と「事業構造・業務プロセス変革」の両面からDXの重要性が高まっていることを踏まえ、「事業を通じた価値創出」と「価値創出の基盤」双方のマテリアリティ内にDXに係る主要課題を設定しました。
 (具体的な見直し箇所は下表に青字で記載)

| マテリアリティ | 目指す姿 | 主要課題 |
|----------------|-------------------------------|--|
| 脱炭素社会の牽引 | 2050年カーボンマイナスの実現 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 電源の低・脱炭素化(再エネ主力電源化、原子力安全安定運転、海外事業等) ■ 電化の推進 ■ 省エネの推進 ■ 環境負荷の低減 ■ エネルギー政策への提言・関与 |
| エネルギーサービスの高度化 | お客さまの豊かでサステナブルな未来に貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ■ エネルギーの安定供給 ■ 低廉なエネルギー ■ エネルギーサービスを核としたソリューションの提供 |
| スマートで活力ある社会の共創 | 社会・産業の変革を促進し、九州とともに発展 | <ul style="list-style-type: none"> ■ スマート社会の実現 ■ 地域の活性化(地方創生等) ■ 安心・安全で快適なまちづくり |
| 多様な人財の育成と活躍推進 | 人と組織が成長し続ける組織文化の醸成により未来の価値を創出 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 人権の尊重 ■ 価値共創・イノベーションの推進 ■ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ■ 安全と健康の最優先 ■ 戦略人財の確保・育成 ■ DXの推進(事業構造・プロセスの変革等) |
| ガバナンスの強化 | 成長を支えるガバナンスの確立 | <ul style="list-style-type: none"> ■ コーポレートガバナンスの実効性向上 ■ リスクマネジメントシステムの強化 ■ コンプライアンスの徹底 ■ サプライチェーンマネジメントの強化 ■ 情報セキュリティの確保 ■ ステークホルダーエンゲージメントの充実(ステークホルダーとの信頼構築等) ■ 財務体質の改善・強化 |